

豊岡市多様性推進方針（素案）に対する意見の募集結果と回答について

1 意見募集(パブリックコメント)の実施状況

- (1) 意見募集期間 2025 年2月 17 日(月)～3月3日(月)
- (2) 公表資料の閲覧方法
 - ア 市公式ホームページ
 - イ 市役所くらし創造部多様性推進・ジェンダーギャップ対策課窓口
 - ウ 市役所各振興局地域振興課窓口
- (3) 意見提出方法
 - ア 郵送
 - イ ファクス
 - ウ インターネットの意見提出フォーム

2 意見を提出された人数と件数 4人(6件)

3 意見の概要と意見に対する市の考え方

意見について、一部表現(文言)を変えて表記している箇所があります。

No.	掲載箇所・内容	意見の概要	意見に対する市の考え方
1	P4 図【社会におけるちがいの認識・受入れの4つの類型】の説明 すみ分け・・ちがいを受け入れる。 互いを干渉しない。	「互いを干渉しない」→「互いに干渉しない」の方が自然な日本語だと勘案します。	助詞の「を」と「に」の用法について確認しました。 「を」の最も一般的な用法は、動詞の対象を示すことです。 「互いを干渉しない」では、「干渉しない」という動作の対象が「互い」であることを「を」が示しています。 よって、素案のとおり、「互いを干渉しない」と表記することとします。
2	P5 「4 基本理念」 ～ そこで、本市では、「命への共感」に基づいて、だれもが多様なちが	「組織・社会に包摂(インクルージョン)」→P4では図中に「共生(Inclusion)」の表記があり、同じ語彙を異なる意味で使用する事で理解を難しくしていると勘案します。どちらかに統一するか、()書きを削除する方が良いと感じます。	P5「4 基本理念」本文中の「組織・社会に包摂(インクルージョン)」とP4図中の「共生(Inclusion)」については、ご指摘のとおり、同じ語彙を異なる意味で使用する事になるため、P4図中の英語表記を削除します。

	い(ダイバーシティ)を理解し、公平・公正(エクイティ)に扱われ、一体感を持って組織・社会に包摂(インクルージョン)されるまちづくりを推進します。		
3	P5 カタカナ表記について	(1) ダイバーシティ、エクイティ、インクルージョンは馴染みのないカタカナ語であり、これ以降も表記が出てこないのであれば日本語表記にするか、日本語表記＋()書きで英語表記し、日本語をメインにした方が良いと勘案します。 (2) 他にもイノベーションやキャリアデザイン、ニーズなど、日本語で言い換えが可能な言い回しが多く、計画自体が読み手を選んでいる印象を受けます。おそらく意識改革が最も必要であろう年代の理解が困難になると推察されます。	(1) 本市で推進する「多様性」は、「ダイバーシティ、エクイティ & インクルージョン (Diversity、Equity & Inclusion)」の意味を込めており、それをお伝えするために()書きでカタカナ表記をしています。 また、英語表記にした場合には、読み方が分からない方もあるため、カタカナ表記の方が理解を得られやすいと考えています。 したがって、P5「4 基本理念」本文中の「だれもが多様なちがい(ダイバーシティ)を理解し、公平・公正(エクイティ)に扱われ、一体感を持って組織・社会に包摂(インクルージョン)されるまちづくり」部分については、素案のとおりカタカナ表記とさせていただきます。 (2) 「イノベーション」は、本文中に「イノベーション(変革)」と記載しています。キャリアデザイン、ニーズについては、一般的によく使用される言葉ですが、分かりにくいというご指摘も承知しましたので、用語集に解説を入れることとします。
4	わかりやすい日本語での表記について	多様性推進方針がすべての市民に理解されるためには、子どもたちにとっても分かりやすい日本語で表記することが重要だと思います。専門的な言葉や難しい表現を避けて、日常的に使われる言葉や表現を使うことで、子どもたちも理解しやすく、幅広い年齢層に関心を持ってもらえるのではないのでしょうか。	多様性推進方針を分かりやすく伝える概要版を作成し、子どもたちをはじめ幅広い年齢層に関心を持ってもらえるように努めます。
5	多様性推進について	演劇同様に、多様性推進方針など、市民は全く求めて	本市では、すべての人が人として尊重されるまちを目

		いません。	指し、まちづくりの根幹に置くべき理念として、2012年に「豊岡市いのちへの共感に満ちたまちづくり条例」を制定しました。 今回策定する多様性推進方針は、すべての施策に多様性の視点を取り入れ、あらゆる場に多様な人々が参画するまちづくりを推進していくためのものです。 多様性推進を必要と感じられる方、不要と感じられる方、さまざまだと推察します。今後とも市民の皆さんの意見を受け止めながら、多様性推進に取り組んでまいります。
6	多様性推進について	性や障がいなどについて細かく記載せずとも、ありきたりではあるが、一人一人を大切にすればいいだけのことではないか。	多様性とは、さまざまな「属性」を持つ人が共存している状態を指すので、「属性」を明示することはとても重要なことです。 この多様性推進方針は、「属性」を明示し、すべての人が人として尊重されるまちづくりを目指し、明文化して市の姿勢を表すものです。 この方針をもとに、一人一人を大切にするまちづくりを推進したいと考えています。